

ローズグラスの採種時期

第1報 採種時期と系統間差異

吉山武敏・*鶴見義朗・**阿部二郎・**北村征生

(九州農業試験場・*鹿児島県農業試験場大隅支場・**熱帯農業研究センター沖縄支所)

YOSHIYAMA, T., Y. TSURUMI, J. ABE and Y. KITAMURA : The Harvesting Time of Rhodesgrass Seed.

1. Classification of Rhodesgrass Strains by Harvesting Time

ローズグラスの採種特性を解明するための一環として採種時期の系統間差異を調査した。

1. 試験方法

ローズグラスの越冬可能な石垣において、15系統を対象に4月から11月までの間に、採種適期に達した系統を採種後刈払いを行い、次の採種時期を待ち、同様な調査をくりかえした。

2. 試験結果及び考察

この期間に5回採種可能なものから2回採種可能なものまで第1表に示すように4段階に区分できた。5回採種可能なものとしてはカタンボラ、フォーズカタンボラがあり、一方、2回しか採種できないものとして、ポコット、マサバなど7系統があげられた。各採種時期に収穫した20穂について、穂長、枝梗数、10穂重、10穂粒重、稔実率等の調査を行ったが、10穂粒重について示すと、第2表のとおりである。合計粒重でみると、5回採種、4回採種の可能な系統の粒重が大であった。沖縄ではロ

ーズグラスは冬期間でも伸長し、開花結実するので、さらに、冬期間も含めて、年間を通じた採種期について検討の必要がある。

第1表 採種時期による系統区分

		a) 採種時期の区分										
区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
A (5回採種)		○	—	○	—	○	—	○	—	○		
B (4回採種)		○	—	○	—	○	—	○	—	○		
C (3回採種)		○	—	○	—	○	—	○	—	○		
D (2回採種)		○	—	○	—	○	—	○	—	○		

		b) 採種時期による系統の区分										
区 分	系 統 名											
A	カタンボラ, フォーズカタンボラ											
B	バイオニア, 栃酪系, Q3307											
C	フォーズカタンボラ(長牧系), ムバララ, 73-572											
D	ポコット, マサバ, 72-171, 73-559, 72-935, 72-1016, 72-1017											

第2表 採種時期別10穂粒重

g (1979)

区 分	系 統 名	採 種 時 期					計
		4月27日	6月18日	8月3日	9月11日	11月13日	
A	カ タ ン ボ ラ	1.9	2.8	2.7	2.0	1.1	10.5
	フ ォ ー ズ カ タ ン ボ ラ	1.8	3.0	2.7	3.4	2.3	13.2
	平 均	(1.9)	(2.9)	(2.7)	(2.7)	(1.7)	(11.9)
B	バ イ オ ニ ア	4.4	3.8		1.9	3.2	13.3
	栃 酪 系	2.7	4.0		0.8	1.5	9.0
	Q3307	2.0	3.2		2.4	2.8	10.4
	平 均	(3.0)	(3.7)		(1.7)	(2.5)	(10.9)
C	フォーズカタンボラ(長牧系)	2.4			1.3	1.5	5.2
	ム バ ラ ラ	1.2			3.0	2.3	6.5
	73-572	2.3			1.9	2.1	6.3
	平 均	(2.0)			(2.1)	(2.0)	(6.0)
D	ポ コ ッ ト	1.8				1.6	3.4
	マ サ バ	1.8				1.8	3.6
	72- 171	1.8				2.0	3.8
	72- 935	1.0				1.4	2.4
	72-1016	1.4				1.2	2.6
	72-1017	1.8				3.2	5.0
	73- 559	2.0				2.3	4.3
	平 均	(1.7)				(1.9)	(3.6)